《 子育て 》

男の子育児は女の子に比べて大変？？？

No.2

に興味を持ち出します。それは、無意識のうちに「自分が男か女か」ということを認識し始めたことによるという説もあります。さらに、子どもが小さいころの遊びの傾向は、周囲の働きかけによる影響が非常に大きいのではないでしょうか。ミニカーや電車のおもちゃで遊ぶのが好きな男の子でも、ままごとも楽しんでいるでしょう。しかし、お母さんやお父さん、その他周囲の人から見れば「やっぱり男の子は乗り物好き」という部分がクローズアップされます。ミニカーや電車のおもちゃに興味を持ち出した男の子を連れ、街中で走る車を見て「ほら、ブーブーだよ！」と言ったり、電車が通り過ぎるのを見て「ガタンゴトン、電車だよ！」と語りかけたりすることも少なくないでしょう。また、おじいちゃんやおばあちゃんから贈られるプレゼントも、男の子にままごとセットを贈る人よりも、車や電車のおもちゃを贈る人の方がほとんどではないでしょうか。やはりここでも、どこかで、「男の子だかからこういう遊びが好きだろう」「男の子にはこんな遊びをしてほしいな」という周囲の無意識のうちの働きかけがあります。そして、子どもの中にも、「自分は男の子だ」という無意識のうちの意識が、明確なものとして育っていくのかもしれません。

このように、男の子と女の子に生まれ持った違いはあるものの、環境的な要因も大きく基本的な差はないということをお伝えしてきましたが、「男の子は甘えん坊？」という部分は、そういう傾向が大きいと思われます。子どもが幼児になり、小学生になり、色々な活動の場で交流する中高生男子たちを見ていても、皆、基本的に「お母さんが大好き」で、とてもかわいらしく微笑ましく見えます。お母さんたちのお話を聞いても、男の子は反抗したり憎まれ口をきいたりしても、どこかでお母さんを心のよりどころとしている部分が大きいようです。それは、女の子よりも男の子の方が大きい傾向がある気がします。「マザコン」という言葉は聞こえがよくないかもしれませんが、マイナスの意味ではない、母親と男の子ならではの恋人のような関係によるものではないかと思います。

漠然と耳にしていた「男の子は大変」ということも、男女の生まれながらの差があること、成長にはそれだけが影響するものではないことを知ると、興味深く思えてきませんか。「男の子は、中高生になってもかわいいんですよ！」と言うと、乳幼児の男の子の子育て中のお母さんたちがとても嬉しそうな表情になるのが、私はとても嬉しいです。男の赤ちゃんを迎えたお母さんたち、これから長く続く小さな恋人との甘い生活、思いっきり楽しんでください。

〈 乳児育児・子育てガイド　千葉 美奈子 〉